

会津坂下町 DX 推進計画（案）に対するパブリックコメント

計画名	項目	内容	意見の取扱い等
会津坂下町 DX 推進計画（案）	P9 町民の利便性	①会津坂下町役場文書 全ての文書から押印をなくす 押印こそがデジタル化を阻害している最大の要因だから。 押印がなければ、自治会長の仕事の30%は削減される。逆に言えば押印に全く触れていないこのデジタル化推進は本質に触れていない。 電子申請ができる、電子報告ができる。行政はデジタル申請等相談窓口を開設すべき 福島県と会津若松市はもう何年も前から押印なしです	令和4年度から、法令等により押印が義務付けられている場合や、登記印、登録印を求め印鑑登録証明書等と照合し本人のものであることを確認する場合等以外を押印省略しています。 なお、町へ提出する請求書については、押印省略でも受付可能とする方向で進めています。
		②町の広報、かわら版、議会報の情報提供をPDF提供をはじめる。印刷物希望とPDF配信希望に分けて情報配信する。→印刷経費節減→コスト削減 区長のチラシ配布が少なくなるだけでコストが減る	町の広報紙やかわら版、議会報についてはPDFの提供を公式LINEやホームページで行っております。印刷物希望とPDF配信希望に分けることに対しての課題を十分整理し慎重に検討します。なお、引き続き、行政区長の負担軽減と配布物の縮減に取り組めます。
		③行政区長の仕事のオンライン化 広報文書をオンラインクラウドで処理することで自治会長コストを減らすことができる。若者、女性でも自治会長が可能になる。クラウドでの処理。	今後、町公式LINEの機能拡張により行政区とのやり取りをオンライン化する予定です。あわせて電子メールによる連絡体制の整備を行い、状況に応じた運用を図ります。 なお、P17「公式LINEの機能拡充による町民サービスの向上」の取組の概要に「行政との様々

			な連絡のデジタル化を図ります。」を追記しました。
		④行政会議のオンライン化（会議の70%）を目指してほしい 区長会や町のPTA会議から地域づくり会議まで、夜の会議を全てオンラインミーティングで実施できるようにする。移動コストの削減。会議参加率の向上になる。 後日録画視聴もできるようになる	一部の会議では、オンラインにより行っています。 今後はオンラインによる会議を拡大してまいります。
		⑤職員と町民の窓口業務を全てクラウドにしてい（サイボウズ、KINTONE） 来庁しないでも、住民票、戸籍謄本、が取れるのはもちろん。申請書等を全てオンラインで行う→郵送コストがなくなる、処理スピードは速くなる クレジット決済を可能にしてほしい（銀行口座以外の決済方法をできるだけつくる）	来庁せず、町民が手続きを行えるように、P14「オンライン手続きの拡充」やP16「コンビニ交付サービスの導入」を進めています。併せて、P21「ノーコード・ローコードツールの活用」も進めています。 キャッシュレス決済についても、P17「キャッシュレス決済の導入」により進めています。
		⑥情報開示請求のオンライン化 町の行政開示請求を全てオンラインで受け入れ、開示データを全てPDFで配信する。コピー、郵送コストがなくなる 情報開示が加速する→行政の情報透明度が高くなる	電子申請、電子交付の基盤整備を進め、段階的にオンライン化を進めます。
		⑦学校、PTA会合のオンラインでの実施 教材データのオンライン配信 教育相談のオンライン化（在宅での相談が可能になる） 保護者負担の削減（余暇時間を増やす）	児童・生徒一人ひとりに1台のクロームブックを配付するとともに、主体的な学びを支援するロイロノートを導入し、教材データのオンライン配信を行っております。教育相談のオンライン化につ

			いては、Zoom、Teams 及びメールなど多様な相談環境の充実に取り組んでいきます。また、PTA 会合のオンライン化については、保護者の負担軽減及び PTA 活動の効率化に効果が期待されることから、今後機会を捉えて町内の PTA のニーズを把握してまいります。
		⑧議会のオンライン化 現在委員会は情報公開されていない。これは委員会の詳細は議事録でしか確認できないことになっている。委員会の情報公開（データの開示）を行うことで、町政への参画を促進する。	委員会につきましては、議会における内部的審査機関であって対外的効力を有するものではなく、委員会の審査内容は委員長報告として本会議に報告され、本会議の議事録に記載されることから、現時点では町ホームページへの掲載を行っておりません。 お寄せいただいたご意見は、議会の情報公開の充実に向けた重要なご提案として、検討いたします。
	P10 行政事務の効率化	ペーパーレス化の評価を進めるための数値目標を設定する 現状からどれだけの％を下げるのか？数値目標を掲げない計画は、計画と呼べない。	ペーパーレスについては、P18「文書管理適正化、文書の電子決裁」の中で、文書の削減を行います。 計画の取組による成果の文言を一部修正しました。
		行政のマニュアル作成、文書作成に AI を導入していくことで、デザイン等の外注コストを下げる（数値目標の設定）	AI の活用については、P20「AI 活用」に記載しています。会議録作成は現作業の 60%の時間削減となる予定です。今後は、AI や様々なツールの導

		AI での 24 時間行政相談を可能にすることで、行政の課題解決率、稼働率を上げる。 デジタル化は、鉛筆を使えない。文字を書けないことと同じぐらい、必須条件である。職員採用に際しリテラシー能力を測ることを試験に入れる	入に向け、端末やネットワークの環境整備を行います。 24 時間行政相談については、町公式 LINE の中でチャットボットを導入し対応する予定です。 職員採用については、意見として承ります。
--	--	--	---